

生活指導についての共通理解事項

【服装について】

1 冬服について

- (1) 標準服を着用する。(上着は、男女とも紺色。そして、男子は同色の半ズボン、女子は、同色のスカート) ※ 男子はベルトを着用する。
- (2) 上着の胸ポケットの上には、ネームをつける。
- (3) 標準服の中に着るシャツ(ポロシャツ含む)・ブラウス(ポロシャツ含む)は白色とする。(ネームをつける) ※ 儀式の際は、シャツ・ブラウスに限る。
- (4) 著しく気温が低い時期や体調が思わしくない場合について
 - ① プレザーの中に、トレーナーやセーター等を着用しても良い。また、長ズボンの着用も認める。(色は、黒・紺系とする)
※ トレーナーやセーター等は、プレザーから過剰に、はみ出さないものを着用する。フード付きの服は、安全面への配慮から認めない。
 - ② 登下校時に限り、ジャンパー等の上着、マフラー、ネックウォーマー、手袋の着用を認める。ただし、カイロは使用しない。
 - ③ 体育学習では、体を温めるために、トレーナーやジャージ、ウィンドブレーカー等(フードが付いておらず、運動に適した服)の着用を認める。
 - ④ 学習中(授業中)は、プレザーを着用(中にトレーナーやセーター等を着用)する。トレーナーやセーターのみ着用して学習しない。ただし、外で遊ぶときはトレーナーやセーター等のみでも過ごしてよいものとする。

2 夏服について

- (1) 男子は、白色の半袖開襟シャツ(ポロシャツ含む・ネームをつける)、紺色の半ズボン(ベルト着用)を着用する。
- (2) 女子は、白色の半袖ブラウス(ポロシャツ含む・ネームをつける)紺色のスカートを着用する。

※ 儀式の際は、シャツ・ブラウスに限る。

3 その他

- (1) 帽子は、赤白の体育帽子。記名してあごひもをつける。
- (2) 運動ぐつ・上ばき(紐のないズックタイプ)・体育館シューズを区別する。
くつ・くつ下は、原則として白を基調としたものとする。ただし、汚れ防止のため底に色がついている靴下は認める。ハイソックスやスニーカーソックス(くるぶしまでの高さの靴下)は認めない。
- (3) 体育服は、白の体育服、紺の体育用のズボンを着用する。(転校生の場合、前の学校のものでもよい。)
- (4) 水着は、紺色とする。(上下分割式のセパレーツタイプも可)
水泳用帽子を着用すること。目の保護のため、ゴーグルの使用を積極的に勧める。

上城小のいつものふくそう(ひょうじゅんふく)

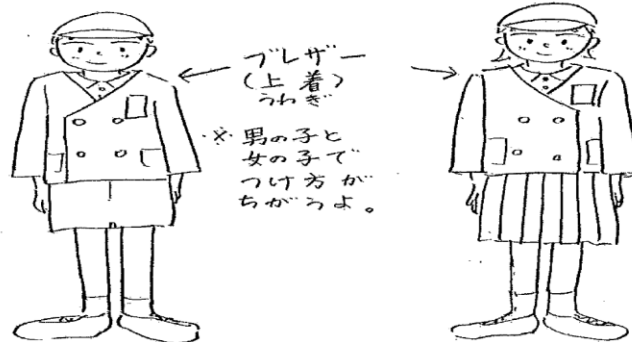
男の子



女の子

※ 髪の毛のけ
つめ
ハンカチ
ティッシュなども
チェックしよう。

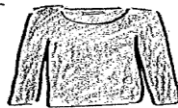
さむくなったら...



ブレザー
(上着)
※ 男の子と
女の子で
つけ方が
ちがうよ。

もっと さむいときは...

※ 学習中は、
ブレザーを
つける。
※ 休み時間は、
トレーナーや
セーターなどで
すごしてもよい。



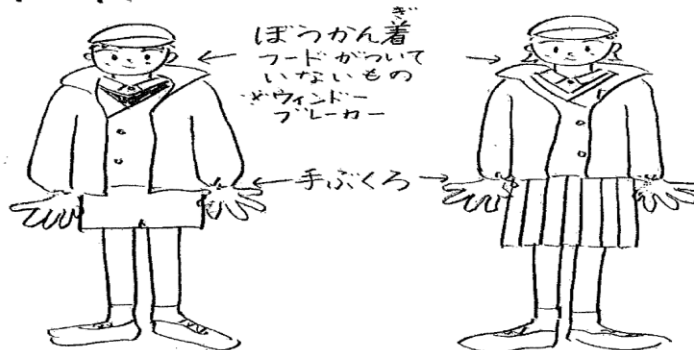
トレーナーなど
色(黒・紺・白)
または、それに
ちがいの色



ベスト など
色(黒・紺・白)
または、それに
ちがいの色

※ はだきも つけましょう。

登下校は...



ぼうかん着
フードがついて
いないもの
※ ウィンドー
ブレーカー

手ぶくろ

※ ウィンドーブレーカーは、体育学習で体をあたためるために
つけることもあります。

